



2018年11月
株式会社クロスワープ

放送局向け侵害対策サービスの提供を開始

コンテンツセキュリティ、eコマース分野で先進的なクラウドサービスを提供する株式会社クロスワープ(所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：山崎真吾、URL：<https://www.crosswarp.com/>)は、かねてより独自のクローリング技術を用いて、著作権関係団体や著作権者向けにオンライン著作権侵害対策サービスの提供しておりますが、この度、放送終了直後からの侵害対策を可能とするサービス「放送局向け侵害対策サービス」(以下本サービス)の提供を開始しました。

YouTubeをはじめとした動画サービスは一般の認知率が7割から8割であり、特にYouTubeは8割を超えています(*1)。その一方で放送番組をこれらのサービスに無断でアップロードされてしまう著作権侵害行為は後を絶ちません(*2)。このような状況で、放送番組の著作権侵害に対して効率的に対処する仕組みが求められていました。本サービスを用いると、放送局は、番組終了直後からYouTubeコンテンツID(*3)を用いて、自動で著作権侵害の抑止を行うことができるようになります。またYouTube以外の動画共有サイトに対しては、クロスワープが提供するクローリングシステムが番組に関連する動画のURLを収集し、目視確認を行なった上で違法番組利用動画に自動で削除要請を送信する事ができます。本サービスにはクロスワープの10年以上の著作権侵害対策の実績を活かしたコンサルティング、毎月のレポートが含まれており、刻々と変化するオンラインの著作権侵害に対して、専門家の見地から効果的な侵害対策の助言も受ける事が可能です。本サービスの標準的な費用は40万円となっており、業務範囲に応じて変動します。

サービス利用のメリットは以下の通りです。

1. 番組終了直後からYouTube上で違法に番組映像が公開されるのを防げます。

2. YouTube 以外の様々な動画共有サイト上の違法な番組映像に対しても、削除要請の送信及び削除確認を自動で毎日行えます。
3. 毎月のレポートにより侵害対策状況が確認でき、併せて効果的な侵害対策の助言を受けることができます。

本サービスは、一部の放送局へ提供を行っておりましたが、2018年11月よりサービスとして一般提供を開始、同時にテレビ大阪株式会社様のライツ管理部にご導入頂きました。弊社は専門家としてテレビ大阪様ライツ管理部の著作権侵害対策をサポートしてまいります。

*1 ジャストシステム調査により

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000320.000007597.html>

*2 ユーチューブにTV番組アップした疑い 5人を書類送検

<https://www.asahi.com/articles/ASL823GPXL82UTNB004.html>

*3 著作権者がYouTube上にて自身のコンテンツ所有権を管理する為の仕組み

<https://support.google.com/youtube/answer/2797370?hl=ja>

【会社概要】

- 会社名 株式会社クロスワープ
- 代表者 代表取締役社長 山崎 真吾
- 資本金 1億円
- 設立 2001年10月4日
- 所在地 〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-2-4 麴町セントラルビル 5F
- TEL 03-3230-4116
- FAX 03-3230-4117
- URL <https://www.assetmanager.jp/>
- Email メールフォーム <https://service.crosswarp.com/assetmanager/contact/>
- 事業内容 eコマース運営、ファンクラブ運営、著作権保護及び流通促進支援、情報漏洩対策の各分野におけるクラウドサービスの開発と提供